

供花料編

Ⅲ 学校の管理下の供花料支給対象の死亡の状況

◇ 学校の管理下の供花料支給対象の死亡の発生件数

「供花料支給対象の死亡事故」の発生件数の内訳は、表－３に示すとおりである。

表－３ 供花料支給対象の死亡の発生件数

		小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所	計	
各教科	理科（化学）			1				1	
	保健・体育	水泳	1					1	
		その他						0	
	総合的な学習の時間							0	
その他							0		
特別活動	学級活動	清掃	1					1	
		その他						0	
	児童会・生徒会活動							0	
	体育的クラブ活動							0	
	文化的クラブ活動							0	
その他							0		
学校行事	儀式的行事							0	
	学芸的行事							0	
	健康安全的行事							0	
	体育的行事	競技大会		2					2
		その他							0
	遠足・集団宿泊的行事							0	
	勤労生産・奉仕的行事							0	
その他							0		
課外指導	体育的部活動	球技			1			1	
		その他						0	
	文化的部活動							0	
	水泳指導							0	
その他							0		
休憩時間	休憩時間中	1						1	
	昼食時休憩時間中							0	
	始業前の特定時間中							0	
	授業終了後の特定時間中							0	
	その他							0	
寄宿舎				1				1	
技能連携								0	
通学中	登校中（登園中）	徒歩	7	1			1	9	
		バス						0	
		鉄道						0	
		自転車	1	4	6		2	13	
		原動機付自転車			1			1	
		自動二輪車						0	
		その他			1		1	2	
	下校中（降園中）	徒歩	6	3	1		1	1	
		バス						0	
		鉄道						0	
		自転車		1	5			6	
		原動機付自転車			2			2	
		自動二輪車						0	
		その他			1			1	
	通学に準ずるとき	徒歩		1				1	
		バス						0	
		鉄道						0	
自転車							0		
原動機付自転車							0		
自動二輪車							0		
その他				1			1		
合 計		17	12	21	0	3	2	55	

1 小学校における供花料支給対象の死亡の事例

〔Ⅰ〕各教科

(1) 体育

水 泳

事例1	小1年・男	溺 死
-----	-------	-----

体育授業中、近くの温水プールでの水泳学習を終え、準備のできた児童から学校へ戻っていたが、当時、豪雨で急激に増水し、勢いの強い流れのため、道路側溝のグレーチングがはずれ、2、30cm開いていた。他の児童が、側溝にはまり、助け出されたが、その後本児童の水着袋が発見され、捜索されるも、翌日川中州で発見された。側溝から転落し、流されたものと思われる。

〔Ⅱ〕特別活動

(1) 学級活動

清 掃

事例2	小4年・男	内臓損傷
-----	-------	------

清掃担当場所の中央階段出入り口（学校北側駐車場へ出入りできる出入り口）の清掃中、本校職員が、昼休みに校外学習の打ち合わせのために校外にて打ち合わせを済ませ、学校北側西門敷地内駐車場へ自家用車を入れようとした際、車が本児童と接触し、その後後輪で轢いてしまった。事故発生後、養護教諭の応急処置を行い、救急車で大学附属病院に搬送され、精密検査を受けた。その後容体が急変し、心肺停止状態となり、肺挫傷のため死亡した。

〔Ⅲ〕休憩時間

(1) 休憩時間中

事例3	小3年・男	凍 死
-----	-------	-----

休憩時間中、グラウンドで雪遊びをしていた。雪遊び終了後、本児童がいないことに気づき、担任教諭が探したところ、プールにあおむけに浮かんでいた。凍死のため、亡くなった。

プールの水が防火水槽として指定されていたことからプールは満水状態であり、また、豪雪のため、プールサイドに張ってあったロープをまたいでプールサイドに入れる状況であったことから、本児童は雪遊びをしながらプールサイドまで行ってしまい、誤って足を踏み外し、滑り落ちたことが原因と思われる。＜死亡事例10と同事例＞

〔Ⅳ〕通学中

(1) 登校中

徒 歩

事例4	小1年・男	頭部外傷
-----	-------	------

徒歩で登校中、T字路で停止していたトラックの前を横切ろうとした際、トラックの運転者が左からの車に気をとられていて右側を十分確認せずに右折してしまい轢かれてしまった。

事例5	小1年・男	内臓損傷
------------	-------	------

夏休み中、学校のプール解放日に、1年生の男子友人と学校のプールに来るため、路線バスに乗り学校前の停留所で降りた。その後、バス後方から道路を横断しようとしたところ、対向車線を走行してきた10tトラックの右側前面に衝突した。(本人が、急にバスの後方から道路を渡ろうとし、運転手は急ブレーキをかけたが、間に合わず、衝突して、タイヤに巻き込まれ、即死状態となった。)

事例6	小1年・女	頭部外傷
------------	-------	------

通学路を登校中、一時駐車していたワンボックスカーの前にさしかかった際、その自動車が発進したためぶつけられ、倒れたところをひかれた。救急車にて病院に搬送し、治療を受けるも、死亡した。

事例7	小3年・男	全身打撲
------------	-------	------

徒歩で登校中、登校時刻に間に合わず、急いでいたようで、横断歩道を渡らず、近道をしようと車道に飛び出したものと思われる。その時、進行してきたトラックに巻き込まれ轢かれた。

事例8	小3年・男	頭部外傷
------------	-------	------

通学班で登校中、横断歩道を渡っている際、右折してきたトラックに轢かれてしまった。救急車が9時過ぎに到着する。集中治療室にて治療を行うが、死亡した。

事例9	小4年・男	内臓損傷
------------	-------	------

徒歩で、兄と共に登校中、交差点を左右確認することなく横断した際、左側から直進してきた大型トラックにはねられた。

事例10	小4年・男	頭部外傷
-------------	-------	------

通学班で歩道上を登校中、速度超過の車がハンドル操作を誤った際、ガードレールを越え、本児童に衝突した。救急車で搬送され、脳挫傷、くも膜下出血、脳の打撲、両足大腿骨骨折、肺の損傷で意識不明の重体となる。手術を受け入院、加療するも死亡した。

自転車

事例11	小4年・男	内臓損傷
-------------	-------	------

自転車で登校中、青信号の交差点を渡っているときに、左折してきた大型バスの前輪にぶつかり、後輪に巻き込まれ、10mほど引きずられた。ほぼ即死状態であった。

(2) 下校中

徒 歩

事例12	小1年・男	頭部外傷
-------------	-------	------

下校中、信号のある横断歩道を渡っていた際、直進してきたトラックにはねられた。

事例13	小2年・男	頭部外傷
-------------	-------	------

下校中、友人の帽子が用水路に落ちた際、下校指導のために通りかかった教諭が、用水路を覆っている鉄板を斜めに持ち上げ、その隙間から本児童が中をのぞいていたところ、教諭の手から鉄板が滑り落ち、頭部を挟まれる。直ちに救急車で病院へ搬送するも、死亡した。

事例14	小2年・男	頭部外傷
-------------	-------	------

通学路を歩いて徒歩にて友人と共に下校中、先に道路を横断していた友人を追いかけて、反対側に道路を横断したところ、本人の右方向から来た車にはねられた。

事例 15	小2年・女	頭部外傷
-------	-------	------

徒歩で下校中、交差点付近にて走行中の大型貨物自動車にはねられた。下校時は同方向に帰る4人が一緒だったが、途中からは1人となり事故当時は目撃している者はいない。

事例 16	小3年・男	頸椎損傷
-------	-------	------

通常通り、友人大勢で下校中、青信号になったので渡ろうとした際、左折してきたトラックに轢かれた。

事例 17	小1年・男	頭部外傷
-------	-------	------

夏休みのプール指導の帰り、歩道から車道にでてしまい、走行してきた乗用車と衝突した。

2 中学校における供花料支給対象の死亡の事例

〔Ⅰ〕 学校行事

(1) 体育的行事

駅 伝

事例 18	中2年・女	頭部外傷
-------	-------	------

体育の授業の一環として駅伝の応援を校外の歩道で行い、終了後引率職員合図のもと帰校中、歩道を列を作って歩いていたところ右後方から突然軽自動車が歩道に乗り上げて突っ込んだ際、本生徒はその車両に激突され、倒れた。激突された場所から前方7～8mのところに意識不明で頭から血を流して倒れていた。病院運ばれたが同日深夜に死亡した。

事例 19	中3年・女	頭部外傷
-------	-------	------

体育の授業の一環として駅伝の応援を校外の歩道で行い、終了後引率職員合図のもと帰校中、歩道を列を作って歩いていたところ右後方から突然軽自動車が歩道に乗り上げて突っ込んだ際、本生徒はその車両に激突され、倒れた。激突された場所から前方5～6mのところに意識不明で頭から血を流して倒れていた。病院に運ばれたが、後日死亡した。

〔Ⅱ〕 通学中

(1) 登校中

徒 歩

事例 20	中2年・女	頭部外傷
-------	-------	------

徒歩で登校中、歩道のある交差点で待っていたところ、軽自動車とワゴン車が衝突した。その際、軽自動車が横転し、歩道にあるカーブミラーの支柱が倒され、本生徒の頭部を直撃した。

自 転 車

事例 21	中1年・男	頭部外傷
-------	-------	------

自転車で登校中、路側帯を走っていたが、前方から走ってきたトラックがわき見運転をしたため、路側帯によってしまい本生徒と正面から衝突した。

事例 22	中2年・男	全身打撲
-------	-------	------

部活動へ参加しようと自転車で下り坂を走行中、向かい側からきた乗用車に気付き、急ブレーキをかけた際、転倒し乗用車の左前方に全身を強く打ち付けた。救急車にて病院に搬送し治

療を行うも死亡した。

事例 23	中2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

登校中、歩道を自転車で南進していたところ、なんらかの原因で車道に出てしまい転倒した際、同時に南下している乗用車に追突される形となった。加害者が医師であったため、救急車が来るまで応急処置を行い、救急車にて搬送する際も一緒に乗り合わせて病院へ行く。病院についてからも救命措置がとられたが、その甲斐なく死亡した。

事例 24	中3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、信号のない交差点を南進していたところ、道路を西進してきた車に轢かれて、体が飛ばされ、縁石で後頭部を強打した。

(2) 下校中

徒 歩

事例 25	中1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

徒歩で下校中、信号機の無い横断歩道を渡っていた際、自動車の右サイドミラーに引っ掛けられ、一回転して転倒して右後頭部を道路に強打した。

事例 26	中1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

ソフトテニス部の練習が終わって帰宅中、歩道を歩いていた際、通行中の軽トラックからの積荷がくずれ頭部に当たった。

事例 27	中3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

中間テスト終了後の下校中、学校バス停に向かう際、50m手前で乗用車にはねられた。救急車で病院に搬送するも、脳挫傷のため自分で呼吸できない状態となり死亡した。

自 転 車

事例 28	中1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、国道の中央分離帯の切れ目で本生徒は一旦停止していた。赤信号で出来た渋滞の車列で停車していた軽自動車が、青信号になっても発進しないため、前の車両との間隔ができた。本生徒がその間を自転車に乗って通り抜けようとした際、軽自動車が急発進したため、本生徒の体の左側に当たり跳ね飛ばされた。本生徒は、10m北側の路上に落下した。救急処置を施され、その後すぐに救急車にて病院に搬送。集中治療室で治療を受けるも意識回復せず死亡した。

(3) 通学に準ずるとき

徒 歩

事例 29	中1年・女	全身打撲
--------------	-------	------

部活動の試合会場へ向かう途中、交差点の歩道で信号待ちをしていたところ、交差点で2台の車が衝突した勢いで、1台の車が歩道へ突っ込み、はねられた。

3 高等学校における供花料支給対象の死亡の事例

〔Ⅰ〕 各教科

(1) 理科 (化学)

事例 30	高3年・男	頭部外傷
-------	-------	------

課題テストの返却が行なわれ、クラス全体の成績が悪かったので全員が注意を受けた。その後、個々に教科担任の横で宿題の点検を受け、それぞれ指導された。本生徒は、指導された際に、返答せず、しばらく教科担任の横に立っていたが、いきなり教室を飛び出し、ベランダ(3階)の手摺りを乗り越えて飛び降り、地面に頭部を強打した。教科担任はすぐに現場に駆けつけるとともに、連絡を受けた教師が、救急車を要請。救急隊員により生徒の状態を確認後、心肺蘇生をしながら移送したが、病院到着後すぐの診断で死亡が確認された。

〔Ⅱ〕 課外指導

(1) 体育的部活動

球 技

ソフトテニス

事例 31	高1年・男	頭部外傷
-------	-------	------

ソフトテニス部の活動中、大会会場へ学校から自転車で移動する際、対向車線の歩道へ右折横断しようとして、後方から進行してきた乗用車にはねられた。

〔Ⅲ〕 寄宿舎

事例 32	高2年・男	窒息死
-------	-------	-----

夕食を終えて、トイレに行くと言って友人と別れた後、一人で別棟に行き、3階階段手すりに紐をかけて首を吊って死亡した。

〔Ⅳ〕 通学中

(1) 登校中

自転車

事例 33	高1年・女	頭部外傷
-------	-------	------

交差点の横断歩道を自転車で横断中、左折する大型ダンプカーに巻き込まれた。

事例 34	高2年・男	頭部外傷
-------	-------	------

登校中、南側通路より北側通路へ横断の際、東側から西側に走る4tトラックにはねられた。救急車により病院へ運ばれ、入院。翌日に開頭術を施行するも奏効せず、同日死亡した。

事例 35	高2年・女	全身打撲
-------	-------	------

自転車走行中、道路左側の子どもを避けようと中央へ寄ったところ、対向のトラックに正面からぶつかった。

事例 36	高2年・女	全身打撲
-------	-------	------

自転車で学校へ登校途中、交差点を横断している際、軽自動車と衝突した。事故後、救急車

で大学病院に搬送され救命手術がなされたが、同日昼前に死亡した。

事例 37	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、横断歩道を渡っていた際、左折してきた大型トレーラーの左前輪に巻き込まれてしまった。救急車で搬送後、病院にて人工呼吸等の救急処置をうけるも、心肺停止により死亡した。

事例 38	高3年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、信号機のない交差点で道路を横断しようとしたところ、トラックと衝突し、頭部を強打した。

原動機付自転車

事例 39	高3年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

ミニバイクで登校中、出会い頭にトラックとぶつかり、頭部などを強く打った。

その他（自家用車）

事例 40	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

父親の運転する自家用車にて登校中、凍結した路面でスリップし、対向車線にはみだし、対向車と正面衝突した。

（2）下校中

徒 歩

事例 41	高3年・男	全身打撲
--------------	-------	------

通常、自転車で通学していた本生徒は、当日、雨天のため電車で登校した。考査終了後、自宅最寄り駅で下車し、自宅に向かって徒歩で下校していた。その途中、本生徒は友人と二人で通学路沿いにあるコンビニエンスストアの駐車場に面した軒下で座って食べ物を食べていたところ、同店舗の駐車スペースに入ってきた自動車が、車止めを乗り越えて本生徒と友人をはね、本生徒は、同自動車と同店舗の壁に挟まれ全身を強打した。病院に搬送されたが、受傷後、約1時間で死亡した。

自転車

事例 42	高2年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車にて下校中、信号のない交差点で出会い頭にトラックと衝突し、左側頭部を強打した。救急車で病院に搬送され治療を受けたが、意識不明のまま死亡した。

事例 43	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、ガード下をくぐり抜け、側道を横切ろうとした時に、側道左方面から走行してきた4 tトラックと衝突した。

事例 44	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車にて下校中、青信号の横断歩道を走行していた際、本人の右後方から左折してきたトラックと接触し、そのまま巻き込まれた。

事例 45	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車にて下校中、学校前の道路を横断しようとしたとき、軽自動車にはねられた。

事例 46	高3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

野球部の部活動を終え、友人と二人で通常通り自転車により帰宅途中、後方から来た加害者（酒気帯び）の運転する普通乗用車にはねられた。加害者が現場より逃走したため友人が警察に通報。本人は到着した救急車で病院に搬送された。重度の意識障害や瞳孔散大、急性硬膜下血腫などが認められたため頭部の緊急手術を受けたが、術後も状態に変化なく、容態が悪くなり死亡した。

原動機付自転車

事例 47	高2年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

部活動を終えて、原動機付自転車で下校中、前方を走行していた軽自動車左折する際、左側後方を運転していた本生徒に衝突して、頭部及び全身を打撲した。

事例 48	高3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

原動機付自転車で下校途中、下り坂の道路を直進していたところ、右折してきたトラックに衝突し、はねとばされた。

その他（自家用車）

事例 49	高2年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

始業式を終え、祖母の運転する軽トラックで自宅に向かう途中、祖母が運転を誤り、道路標識に激突した。

（3）通学に準ずる時

その他（自家用車）

事例 50	高3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

スケート部に所属する本生徒は、大会に参加するため、自宅に迎えに来た顧問が運転するワゴン車に乗車し、会場へ向かっていた。そのワゴン車が移動中スリップして対向車線にはみ出し、走行中のトレーラーに衝突した。ワゴン車最終後部の右座席にいた本生徒は頭部を負傷し、救急車で搬送された。

4 幼稚園における供花料支給対象の死亡の事例

〔Ⅰ〕通園中

（1）登園中

自転車

事例 51	幼4歳・女	頭部外傷
--------------	-------	------

登園中、母親運転の自転車後部座席に乗り交差点を出たところ、右手より通行の普通自動車に接触し飛ばされた。頭部を強打し、口や耳などから出血した。現場近くの住民が救急連絡し、幼稚園職員も駆けつけ母親と一緒に救急車に乗り病院へ搬送したが、脳挫傷のため死亡した。

事例 52	幼5歳・女	全身打撲
--------------	-------	------

登園中、母子3人が乗った自転車が市バスと接触（自転車の右ハンドルと市バスの左ウインカーが接触）、自転車が転倒した。その際、後部座席に乗っていた本児だけが車道側に投げ出さ

れ、市バスに轢かれた。

その他（自家用車）

事例 53	幼3歳・女	頭部外傷
--------------	-------	------

登園中、母親が運転する自家用車で、園前まで乗りつけ降りた直後、その車が坂道だったため突然バックした際、車に当たって倒れたところ、車の前輪に頭部を轢かれた。すぐに救急車を呼び、鼻からかなりの出血があり意識はなかったが、呼吸していることを確認した。頭を強く打っていると思われたため動かさず救急車の到着を待って、病院へ運ばれ医師の手当てを受けたが、重症頭部外傷で2時間後死亡した。

5 保育所における供花料支給対象の死亡の事例

〔I〕通園中

（1）登園中

徒歩

事例 54	保3歳・男	頭部外傷
--------------	-------	------

通園バスのバス停が道路をはさみ、家と反対側にあるので、姉と2人で道路を渡る。そこで、姉はクラスの友人から手紙をもらい、それを見せるため、まだ道路の反対側にいた母親のもとへ行った。その様子を見て、本児も母親達の所へ行こうとして道路を渡ろうとした際、乗用車に轢かれた。

（2）降園中

徒歩

事例 55	保3歳・男	頭部外傷
--------------	-------	------

祖母と降園中、走行中のダンプカーのタイヤが外れた際、歩道を歩いていた本児にそのタイヤが直撃した。救急車で病院に運ばれ治療を受けたが、約11時間後に死亡した。